

## 岐阜市の中学校における「医薬品に関する教育」の実施状況および課題

### —指導者を対象としたアンケート調査より

著者らはこれまで、行動変動を促す効果的な教育プログラム開発のための基礎資料を得ることを目的として、全国レベルでは、小・中・高校生の医薬品使用に関する行動や知識の実態や好ましい行動や態度に及ぼす要因、また指導者を対象として指導状況を質問紙調査を通じて明らかにしてきました。また、近隣地域に根差した研究・啓発活動の一環として、岐阜県あるいは岐阜市の生徒を対象とした調査研究を継続的に行ってきました。中学校で医薬品教育が開始されて10年が経過する中、本研究では、地域の学校における医薬品についての授業の実施状況や教員の要望を調査することにより、教育における課題を明らかにすることを目的としました。

2021年11月から2022年1月の期間に岐阜市の中学校を対象に質問紙調査を実施し、21校から回答を得ました（回収率91.30%）。回答者は計41人（1名回答：1校，2名回答：20校）でした。

#### 1. 実施率および担当教員

41人中37人の学校において医薬品に関する授業が実施されており、担当教員は「保健体育の授業での「医薬品についての授業」では「保健体育科教員」が、「保健体育の授業以外での「医薬品についての授業」では「養護教諭」あるいは「学校薬剤師」が主に担当していました（表1）。

表1 担当教員

	保健体育科教員	養護教諭	学校薬剤師	その他
保健体育の授業	34(100.0%)	0	0	0
保健体育の授業以外	0(0%)	7(46.7%)	12(80.0%)	2(13.3%)

#### 2. 対象学年および教材

授業の対象学年は、「保健体育の授業での「医薬品についての授業」は学習指導要領に則り3年生を対象に実施されていた一方、「保健体育の授業以外での「医薬品についての授業」は1,2年生も対象に行われていました。また、「保健体育の授業での「医薬品についての授業」では主に教科書が用いられていた一方で、「保健体育の授業以外での「医薬品についての授業」では教科書以外の資料を活用している学校が多いことが明らかになりました（表2）。

表2 使用教材（複数回答）

	保健体育の授業	保健体育の授業以外
教科書	33(97.1%)	1(6.7%)
健康関係の月刊誌	0(0%)	0(0%)
日本学校保健会作成・配布の冊子	1(2.9%)	2(13.3%)
その他のパンフレット冊子類	1(2.9%)	4(26.7%)
ビデオ	2(5.9%)	3(20.0%)

インターネットからのダウンロード資料	3 (8.8%)	3 (20.0%)
その他	2 (5.9%)	8 (53.3%)

### 3. 他職種との連携に関する課題

授業実施に際して希望することとして、「補助教材の充実」、「モデル授業の参照」、「他職種との連携」が多く挙げられていました（表3）。また「補助教材の充実」を望む回答者が「活用してみたい補助教材」として、表4に記したものが挙げられていました。更に、ほぼ全員（40/41人）が、教員が行うよりも外部講師が行う方が有効だと考えており、医薬品に関する教育の指導内容の専門性の高さゆえに、必要な場合には学校薬剤師等から専門的なサポートを受けられるシステム構築の必要性が再確認されました。

表3 授業実施にあたり希望すること（複数回答）

補助教材の充実	16 (47.1%)
他職種との連携	9 (26.5%)
モデル授業の参照	14 (41.2%)
研修の機会	4 (11.8%)
その他	0 (0%)

表4 活用してみたい補助教材（「補助教材の充実」と答えた回答者）（自由回答）

薬局での薬も薬物に繋がるということ
薬物乱用との関わり
資料の拡大用紙
薬物の乱用が分かりやすく説明してあるVTRなど
動画（2人）
薬の種類が見てわかるようなもの
見てわかる教材
本物の医薬品パッケージ、薬物のサンプル等視覚的なもの
デジタル資料
生徒が見て触れられるもの
主作用・副作用のより詳しい教材
副作用の詳しい資料
医薬品による健康被害の実例など
どんなものがあるか知りたい

本研究で明らかとなった現場の教員からのニーズに基づき、著者らは2022年度に、学習指導要領に則った指導内容を盛り込んだ講義の動画に加え、指導内容を視覚的かつ科学的に理解できるよう工夫した複数の実験動画を作成し、そのDVDを岐阜市の中学校に配布しました。本研究の取り組みが、「医薬品についての授業」の改善、発展において、地域に焦点を当てた課題解決の実践モデルとなることを期待します。

#### 【発表論文】

堺千紘，井口和弘，館知也，野口義紘，勝野眞吾，寺町ひとみ，岐阜市の中学校における「医薬品に関する教育」の実施状況および課題—指導者を対象としたアンケート調査より，日本地域薬局薬学会誌，10（2），92-101，2022.